

# 3 いつも安全でおいしい水を

## (1) 安全な水づくり

いつも安全な水をとどけるために、水道局では、どのような取組をしているのでしょうか。

### 貯水池や川での検査

水道水のもとになるのは貯水池や川の水です。水道局の水質センターでは、貯水池（ダム）や川の水がよごれていないか、定期的に調べています。

まれに、油が流れていたり、魚がたくさんういていたりして、川の水がよごれていることが分かります。水がよごれがひどくなると、貯水池や川から水を取ることができなくなってしまいます。そういうときは、すぐに出動して、どのくらいよごれているのか、よごれのもとがどこから流れてきたのかを調べます。



▲貯水池の水の検査



▲川の水の検査

### 浄水場での検査

浄水場では、湖や川から入ってきた水道水のもとになる水や、きれいにしている途中の水、そして最後にきれいにできあがった水の検査をしています。

また、浄水場だけでなく、水質センターでも、いろいろな機械やけんびきょうを使って、飲み水としての基準をみているかをたしかめるために、くわしい検査をしています。



▲浄水場での水の検査

おいしくて安全な水をとどけるためには、いろいろな検査が必要なんだね。



### じゃ口から出る水の検査

じゃ口は水道を利用する人に一番近いところです。そのため、水質のきめ細かくきびしいチェックが必要です。水道局では、水質の検査を自動で行う機械を使って、都内131か所で毎日24時間検査しています。

また、じゃ口から出る水について、定期的におい・味などのたくさんの項目の検査をしています。



▲自動水質計器

## (2) おいしい水づくり

いつもおいしい水をとどけるために、水道局では、どのような取組をしているのでしょうか。

### おいしい水にするための工夫 (高度浄水処理)

水の味を悪くするカビのようなにおいのもとの中には、浄水場で行っている「沈殿→ろ過→消毒」では完全には取りきれないものがあります。そこで、オゾンや生物活性炭を使った「高度浄水処理」という新しい方法を取り入れ、より安全でおいしい水をつくっています。→くわしくは11ページを見てみよう。

